

酒類・加工食品業界の業務効率化と標準化推進をめざす [ファイン・ファイネット]

FINE FINET

[Finet Event]

業界全体のさらなる連携・協働に向けて
～2013年度ファイネットユーザー会を開催～

ファイネット ヘルプデスク便り

[Finet Information]

「EDIサービス品質向上活動」について



Vol. **27**
2013 Summer
ファイネット発行

業界全体のさらなる 連携・協働に向けて

～2013年度ファイネットユーザー会を開催～

2013年度のファイネットユーザー会を、5月28日(火)に東京のロイヤルパークホテルにて開催いたしました。当日は136社・291名の皆様にご参加いただきました。

弊社代表取締役社長・細見典男の挨拶で始まり、第1部はファイネット2012年度事業報告と2013年度事業計画および取組内容についての報告を行うとともに、「食品流通の変革」をテーマに株式会社野村総合研究所の辻直志様にご講演いただきました。



ユーザー会の様子

第2部は懇親会とし、ユーザー様間での交誼を大いに深めていただき、ユーザー様を代表して一般社団法人日本加工食品卸協会・奥山則康様の中締めにて盛況のうちに無事終了いたしました。

細見社長によるご挨拶

まず、冒頭から恐縮ですが、今年1月のシステム障害につきまして、ユーザーの皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしました。役職員一同、深く反省し二度と起こさないよう、万全な体制をとってまいります。

さて、日本経済は円安・株高の進行、TPP交渉参加の表明など大きなターニングポイントを迎えています。しかしながら、今夏の参院選や消費税増税への懸念もあるなか、見通しについては予断を許さない状況が続いています。一方、IT産業の市場環境は、データ通信量が増大し、当社VANのデータ件数が昨年度初めて20億件を超えました。

このなかで当社は、3つの取り組みに注力してまいります。1つ目は、安定した高品質のVANサービスの確立に向けて、しっかりとした体制をとってまいります。また、大地震をはじめとする自然災害リスクへの対策に取り組むことも重要になると考えております。2つ目は、食品産業全体のより一層の効率化のために、ユーザーの皆様ニーズをしっかりと捉え、各種サービスの充実を進めてまいります。3つ目は、標準化推進会議など、業界全体での標準化に向けての活動を今まで以上に積極的に取り組みます。

これらの達成には、業界全体での連携・協働が不可欠です。皆様方のご協力を何卒よろしく願いいたします。



細見典男社長



奥山則康様による中締め



懇親会で歓談するユーザーの皆様

●2012年度 事業報告（主な取り組み）

《商品流通VAN》

1. 低コストの実現に向けて
 - a. 全銀協TCP/IP手順移行推進（従来手順〈JCA、全銀協BSC〉の段階的廃止）～12年6月
- 2 ユーザーニーズに基づくサービス拡充
 - a. WebEDI（販売実績・販促金データ種追加）12年4月
 - b. FAX変換（菓子業界用の発注票追加）12年4月
 - c. PDF変換サービスの開始（販促金請求書）12年11月
3. 運用機能の改善に向けて
 - a. 送受信状況照会の機能改善（相手企業の接続形態〈ホスト/WEB〉の表示追加）12年6月
4. 安定性向上、機能拡充に向けて
 - a. VANシステムリプレイス～新たな情報通信技術への対応、信頼性向上を目指して～
（より強固な首都圏センターへ機能拡充〈インターネット手順対応、文字コード変換機能〉）13年1月

《商品情報サービス：FDB》

1. ユーザーニーズ、法令対応に基づく項目改廃
 - a. 項目整理（重複項目の統合）12年11月
 - b. ペットフード安全法（関連項目の追加）12年11月
- 2 ユーザーニーズに基づく機能改善
 - a. 仮登録機能の追加（登録作業中の一時保存機能）12年11月
 - b. 登録内容チェック機能追加（荷姿階層間の値大小チェック他）12年11月

《標準化推進活動》

1. 酒類・加工食品業界標準化推進会議
 - a. GTIN-EDI（着実な普及促進）
 - b. 取引先コードの標準化（あるべき姿の整理）
 - c. 日食協フォーマットでのEDIにおける個別対応の改善（標準運用の普及に向けたガイドブック改定案作成）
- 2 【品質230】品質情報標準項目（加工食品）の実用化推進

【品質230】実用化推進会議：製配販26社（小売5社／卸6社／メーカー15社）が参画

 - a. 標準項目の改定 Ver.3.0（日本GCI推進協議会 品質WG）
 - b. 日本GCI推進協議会の解散 → 【品質230】実用化推進会議の発展的解散（12年度末）

➡ 商品情報授受標準化に主眼を置いた新たな会議体の発足

●2013年度 事業計画（主な取り組み）

I. 全社テーマ

1. 業界共有インフラの安定提供

インフラ基盤の委託先含め全社一丸となって安全性向上を推進

- ① EDIサービス品質向上活動 ～システム品質、運用品質、開発品質の向上
- ② 緊急避難システムの機能向上
- ③ インターネット手順の安全を期したサービス開始

2. 標準化推進活動

継続的に会議体を支援し、標準化活動を進める

- ① 酒類・加工食品業界標準化推進会議 → 12年度に引き続きGTIN-EDI普及検討部会を継続
(GTIN-EDIの普及推進)
- ② 商品情報授受標準化の推進活動 → 「商品情報授受標準化会議 (PITS)」、「外食標準規格書検討会」の発足

📖 商品情報授受標準化会議 (Product Information Transfer Standard)

～製配販3層の実態を踏まえ商品情報授受の効率化を目指す

議長企業：味の素、味の素冷凍食品、ニチレイフーズ

幹事会企業：議長企業、イオン、国分、トーホービジネスサービス

※ファイネットは全会議体の事務局

- 幹事会（製配販、事務局）……活動方針策定、会議運営方針策定
- 【品質230】維持管理タスクフォース（製配販、事務局）……課題整理、バージョンアップ
↓
- 代表会議（製配販30社、事務局）……活動テーマや分科会の設置など各種決議事項について3層で決定
 - ・分科会（有志企業、事務局）
〈標準項目検討分科会〉どのメーカーでも提供可能な必要最低限の標準項目を検討
〈最適な情報流検討分科会〉標準化された情報が最適に流れる姿を検討

📖 外食標準規格書検討会

～外食業界における商品情報授受の標準項目および標準規格書を定義し、業界標準化を目指す

メーカー13社：【品質230】実用化推進会議参画メンバー

業務用卸6社：「食の安心情報ネットワーク」メンバー

ファイネット（事務局）

II. 事業別テーマ

《商品流通VAN》

1. 既存ユーザーとのさらなる関係強化によるユーザー数、データ件数の拡大
2. 当社VANサービスの優位性（コスト、安定性、機能）の向上
3. 新サービス、新データ種による標準化支援領域の拡大模索

《資材VAN》

1. サービス料金改定（値下げ）の実施（13年7月）
2. 主要メーカーのさらなるサプライヤー拡大を支援
3. 加入メーカー数拡大に向けた活用事例水平展開の準備

《商品情報サービス：FDB》

1. サービス再構築策の検討～策定
 - ～当業界内でのさらなる実活用拡大に向けた課題整理とユーザーニーズの深耕
 - ～ユーザー活用メリット向上へのサービス見直し策の検討
 - ～品質系情報、マスタ系情報の授受標準化 → シングルインプットの実現
2. 新規ユーザー獲得に向けた普及推進活動の継続

食品流通の变革



縮小市場における小売流通の変化と、今後の製配販連携のあり方などについて、株式会社野村総合研究所の辻直志様にご講演いただきました。

〈講演者〉株式会社野村総合研究所

サービス・産業ソリューション第一事業本部 主席コンサルタント **辻直志** 様

1. 縮小市場における小売流通業の構造変化

国内における人口減・高齢化によって、消費支出減少が継続しています。国内チェーンストアの総売上高は減少傾向にあります。新規出店に頼った拡大戦略を継続したため総売場面積が伸び続けている一方、売場効率は減少しています。消費の縮小と出店飽和により、これまでの新規出店に頼った成長モデルはもはや限界です。

これまでの成長モデルの崩壊にともない、小売の水平統合はますます進むものとみられます。近年は、有力企業同士が合従連衡し、さらなる強化を目指すケースが増加しています。また大手企業に対抗するために、中小の

小売も連合化による水平統合を志向しています。

また、国内の出店余地の減少にともない、業態がボーダレス化しています。企業統合や提携により、形態が異なる店舗群が1つの企業内に混在することが通常になり、様々なオペレーションレベルが存在しています。

さらに、日本は欧米と比較して収益性が低い傾向にあります。収益確保にはコスト削減が鍵となりますが、小売業のコスト削減は限界です。一方、メーカーの製品付加価値も年々減少傾向にあります。こういったなかで、製配販の垂直連携／統合も重要な要素となります。

国内消費市場が縮小するなか、国内流通はどう変化していくか？



●●●●●●●●●● これからの国内流通業の成長ドライバー ●●●●●●●●●●

①小売業の水平統合の拡大 ②業態・フォーマットの拡大 ③製配販の垂直連携／統合の拡大

流通企業の巨大化が進むのか？

2. 法改正に伴う生鮮流通の構造変化

規制緩和による青果物流通の変化

日本の青果物流通は卸売市場法などの規制に守られ、地域単位での発展を続けてきました。一方、市場法が存在しない海外では生鮮流通が高度化しており、小売業の大型化が進んできました。

日本においても、「旧態依然の規制弾力化」と「市場機能強化」を目指し、平成16年に卸売市場法を改正し、全国規模で加食と青果物の統合流通を行う動きが始まりましたが、ほぼ10年経過した今でも調達プロセスのシフトは道半ばです。

新しい競争環境下で求められる製配販連携のあり方

日本の食品スーパーは、生鮮・惣菜・日配が利益の源泉で、近年は、青果、惣菜に力を入れる食品スーパーが多い傾向にあります。一方、消費者は「自分が気にいっ

た付加価値には対価を払う」傾向が見られ、「品質」、「ライフスタイル」、「安全性」を重視する傾向も高まりをみせています。

このようななかで売上を伸ばしている一例として、地域性と生鮮の鮮度をうまくアピールし、成長を続けている「道の駅」があります。消費者に「安全・安心」、「健康」、「おいしさ」を届けることで、国内食品流通のビジネスチャンスが広がる可能性があります。

いかにして地域ごとの特色をとらえ消費者に付加価値を提供するかが、大型化を目指す小売の課題です。地域ならではの多様な売り方、独自商品の企画機能と、生鮮と加工食品の統合物流機能を有する地方の中小メーカー・卸なら、小売の機能を補完できる可能性があるのではないかと思います。

〈ファイネットユーザー会に関するお問い合わせ先〉

株式会社ファイネット 営業推進部 【TEL】 03-5643-3450 【e-mail】 info@finet.co.jp

ファイネット ヘルプデスク便り

「商品流通 Web 状況照会サービス」のご紹介

「商品流通 VAN サービス」では、データ交換の送受信状況をユーザー様にご確認いただけるサービスとして、「商品流通 Web 状況照会サービス」を提供しています。

こんな事でお困りではありませんか？

- ・毎日届いているデータが今日は受信できない！（データ発生有無の確認）
- ・送信したデータが「商品流通 VAN サービス」で正常処理されているかを確認したい！（処理結果の確認）
- ・送信したデータの相手受信時間が知りたい！（送受信時間の確認）

そのような時は、「商品流通 Web 状況照会サービス」をご活用ください。

■ ご利用方法

- ① 「商品流通 Web 状況照会サービス」は、手続きサイトからご利用いただけます。
(ID・パスワードについては、ご加入の際にお送りしました「手続きサイト ID 通知書」をご確認ください)
- ② ホーム画面のリンクメニューより「商品流通 Web 状況照会」をご選択ください。
- ③ 状況照会画面が表示されます。



③ 状況照会

配送ステータスの説明
 全 て……未配信/配信済の両方のデータを検索します。
 未配信……未配信データのみを検索します。
 配信済……配信済データのみを検索します。

日付	自社ステーション	相手ステーション	データ種	サイクル	開始日付	開始時刻	終了時刻	振分処理	レコード件数	相手
2013/05/03	AMHTEO ファイネット卸会社	MHTE00 ファイネットメーカー会社	ホスト	01:受発注	0074	2013/05/03	10:25:14	10:25:29	処理済	0000007
2013/05/03	AMHTEO ファイネット卸会社	MHTE00 ファイネットメーカー会社	ホスト	01:受発注	0074	2013/05/03	10:25:14	10:25:29	処理済	0000007
2013/05/03	AMHTEO ファイネット卸会社	MHTE00 ファイネットメーカー会社	ホスト	01:受発注	0074	2013/05/03	10:25:14	10:25:29	処理済	0000007

レコード件数合計 0000021

〈項目説明〉

- ・対象期間：当日を含め過去 14 日間の送受信状況が確認できます。
- ・配信ステータス：未配信（相手）のみ表示が可能になりました。
- ・ダウンロード：照会結果は、CSV ファイルでもダウンロードが可能です。
- ・ホスト/WEB：相手ステーションの接続形態（ホスト or WEB）が分かります。

★主な実施条件・注意事項

(1) 利用条件

対象：「商品流通 VAN サービス」ご利用のお客様
 サービス受付時間：24時間、年中無休（毎週木曜日の 22 時～24 時は定期メンテナンスのため、ご利用できません）

(2) 推奨されるお客様側環境

OS：Microsoft Windows XP(SP3)、Windows Vista (32bit 版)、Windows 7 (32bit 版および 64bit 版)
 ブラウザ：Internet Explorer バージョン 7、8

お問い合わせは、ファイネット ヘルプデスク (0120-091-094) までご連絡ください。

「EDI サービス品質向上活動」について

2013年1月のVANシステムリプレイスに関連したサービス障害に対し信頼の回復を目指し、1月下旬より推進しております「EDI サービス品質向上活動」についてご報告いたします。

1 ▶ 障害を起こしにくいシステム、体制構築のために

(1) システム品質（安定性）向上に向けた取り組み

1) 開発品質の向上策

- ① プログラムの開発基準と組織体制の見直し
開発・テスト基準の厳格化とリリース判定体制の見直しを実施しました（3月完了）。

2) さらになる障害の未然防止策

- ① DBサーバー構成の見直し
DBサーバーの増設と機能の見直しを行います（7月～順次実施予定）。
- ② 疑似本番環境（本番設備同等）のシステム構成を準備
本番と同様にテストできる環境を整えます（10月予定）。

(2) 障害の未然防止に向けた取り組み

1) 監視強化（予兆検知）

- ① キャパシティ管理強化（管理項目、基準値の見直し）
適正なりソースを確保しました（4月完了）。
- ② 構成変更、プログラムリリース事前検査の徹底
疑似本番環境を用いた検証により、事前検査を徹底します（10月～環境整次実施予定）。

2 ▶ ユーザー様への迅速で正確な情報提供のために

(1) 運用品質向上に向けた取り組み

1) 影響範囲特定の迅速化

- ① 障害の影響範囲を特定する新たなツールの開発
状況照会機能が使用できない状況においても、障害の影響範囲の特定ができるツールを構築しました（1月完了）。
- ② 影響範囲リストの出力訓練を継続して実施しております（1月～継続実施中）。

2) ユーザー対応力（障害時の情報伝達力）の強化

- ① 障害の情報を迅速に発信するツールの開発
影響範囲リスト出力時、担当者様の連絡先情報を合わせて抽出することで、影響を受けたユーザー各社（1社複数宛先）に電子メールで同時に案内ができるよう改善しました（2月完了）。
- ② ユーザーごとの障害状況を迅速にかつ、正確にお知らせするツールの開発
障害情報（発生、復旧、一部の不具合など）や障害による影響範囲の状況をいち早く、適切にお知らせするための検討を進めております。

◆ 本件に関するお問い合わせ先 ◆

株式会社ファイネット 運用管理部

【TEL】 03-5643-3410 【e-mail】 unnyoukanri@finet.co.jp

[Finet Announcement] ファイネット・アナウンスメント

請求書の宛先等のご変更手続きについて

弊社への問い合わせの多くに、請求書の宛先や宛名のご変更に関するものが多数ございます。

請求書の宛先や宛名のご変更は、弊社Webサイトの「手続きサイト」にてお手続きいただいております。

・「手続きサイト」URL

<http://www.finet.co.jp/fts>

〔ファイネット ヘルプデスク〕

 **0120-091-094** (年中無休 7:30~23:00)

(総務部)

操作方法やパスワード等がご不明の場合は、ファイネット ヘルプデスクにてご案内申し上げております。

是非、この紙面を、請求書を受け取るご担当者様にご回覧いただければと存じます。

夏季休業について

弊社の夏季休業日は、以下の通りとなります。ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

・夏季休業日

2013年8月12日(月)

〔ファイネット ヘルプデスク〕

商品流通VAN・資材VAN  **0120-091-094** (年中無休 7:30~23:00)

(総務部)

なお、ファイネット ヘルプデスクは通常通り稼働しておりますので、お問い合わせの際は、ご利用ください。

編集後記

梅雨というのに雨が少なく、夏場の水不足が気がかりな状況ですが、ユーザーの皆様は如何お過ごしでしょうか。今年1月の障害では、皆様に多大なご迷惑をお掛けし改めてお詫び申し上げます。今号は、その恒久的な対策を説明(6ページ)するとともに安全性を重視する今年度の取り組み(巻頭のユーザー会の報告)を中心に編集いたしました。

皆様の忌憚のないご意見をお待ちしております。(F)



FINE FINET (ファイン・ファイネット)

Vol.27 2013 Summer 2013年6月28日発行

〔発行〕(株)ファイネット 東京都中央区日本橋兜町13-2 偕成ビル(本館)7F 〒103-0026
Tel.03-5643-3400 Fax.03-5643-3499

〔編集・発行責任者〕仲小路 啓之



<http://www.finet.co.jp>